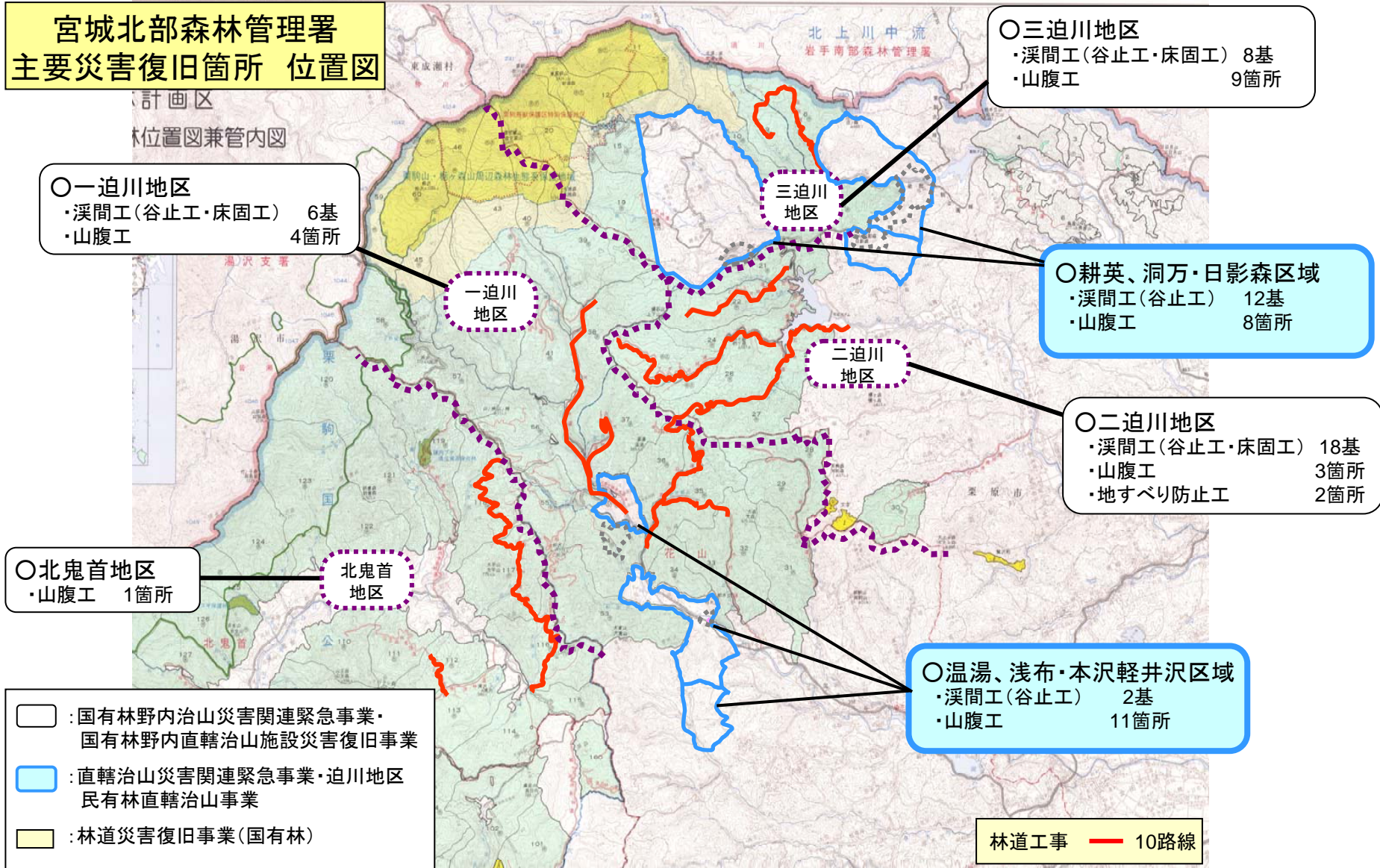


宮城県内の対策概況①(東北森林管理局 宮城北部森林管理署)

平成22年7月2日現在

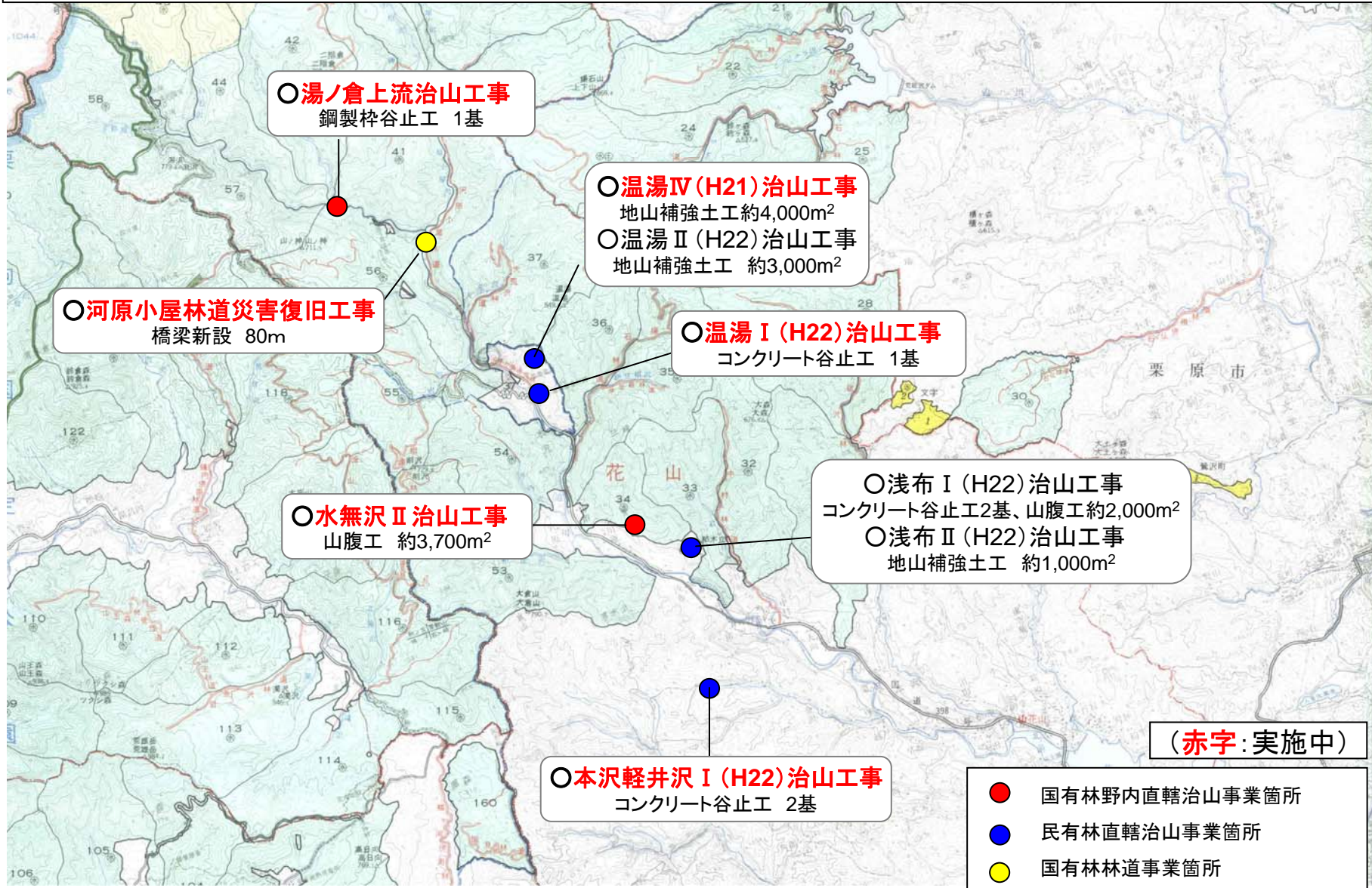
平成21年度末までに国有林治山事業で溪間工32基、山腹工17箇所、民有林直轄治山事業で溪間工14基、山腹工19箇所、林道災害復旧事業で10路線を整備しました。



宮城県内の対策概況②(東北森林管理局 宮城北部森林管理署)

平成22年7月2日現在

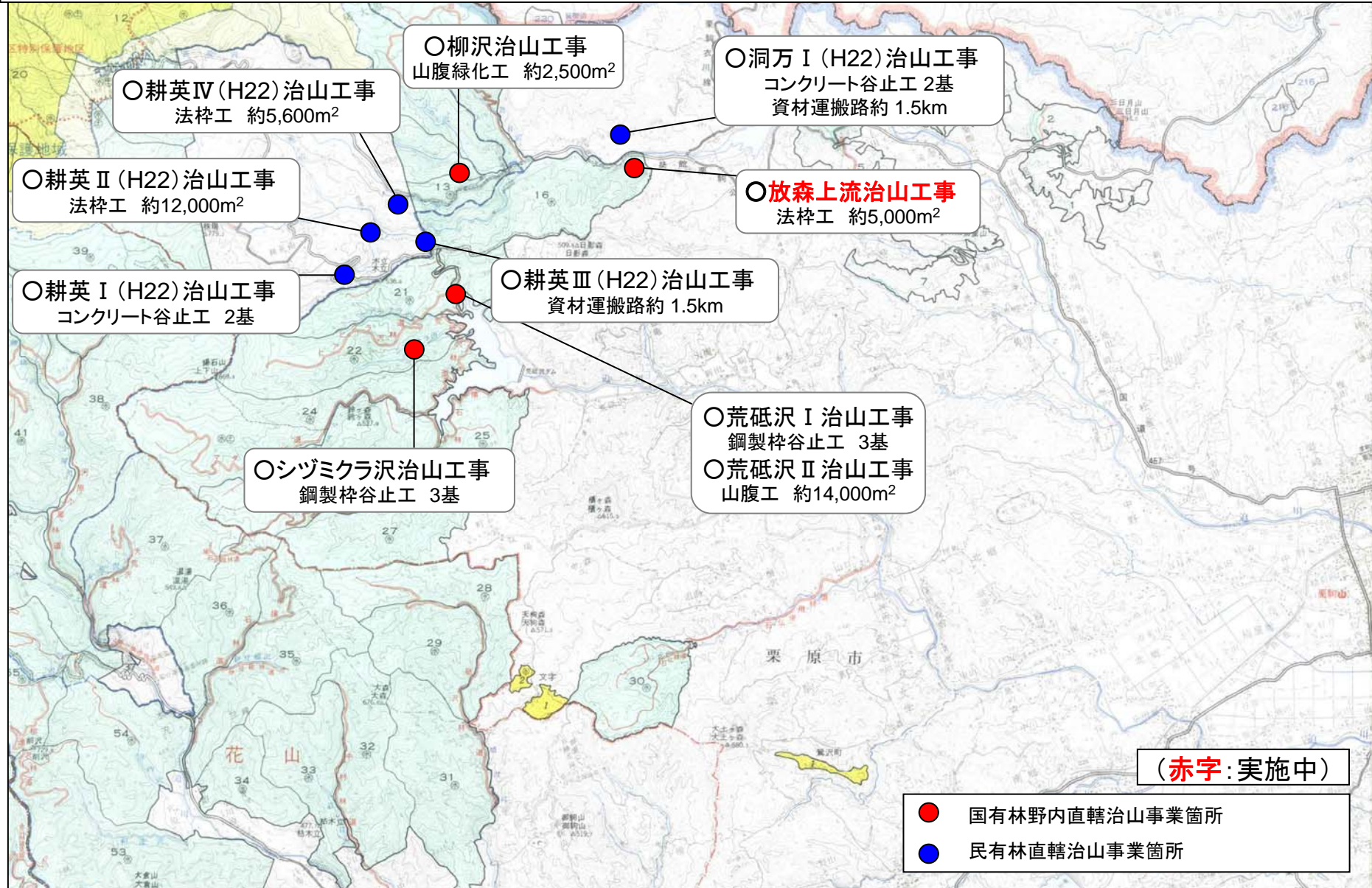
平成22年度は、一迫川地区において、国有林治山事業で溪間工1基、山腹工1箇所、民有林直轄治山事業で溪間工5基、山腹工4箇所、国有林林道事業で林道1路線を整備します。



宮城県内の対策概況③(東北森林管理局 宮城北部森林管理署)

平成22年7月2日現在

平成22年度は、二迫川地区、三迫川地区において、国有林治山事業で溪間工6基、山腹工3箇所、民有林直轄治山事業で溪間工4基、山腹工2箇所を整備します。



被災地の復旧状況(溪間工)

【工事概況】

震災によって荒廃した溪流において溪床を安定させ溪岸浸食を防ぐ谷止工などにより、復旧対策を進めています。



河原小屋沢上流部の荒廃状況
(平成21年10月14日)

【平成21年度までに完成した代表的な工事】

(三迫川地区
ドゾウ沢)



INSEM鋼製谷止工

(一迫川地区
河原小屋沢)



鋼製スリット式谷止工

【平成22年度の代表的な工事予定箇所】

(一迫川地区 湯ノ倉上流)
平成22年度秋完成予定
(昨年からの継続工事)



鋼製枠谷止工施工箇所

(三迫川地区 洞万)



コンクリート谷止工(間伐材を利用した型枠)

被災地の復旧状況(溪間工)

【工事概況】

三迫川地区のドゾウ沢で土石流の被害を防ぐために、駒ノ湯温泉跡の上流に治山ダムを設置しました。



INSEM鋼製谷止工 平成21年10月完成



平成20年6月撮影

被災地の復旧状況(山腹工)

【工事概況】
震災によって荒廃した斜面の安定を図る山腹工を行っています。

【平成22年度の代表的な工事箇所】

(一迫川地区 水無沢)

(平成22年6月29日撮影)



□H22年度施工箇所

緑化によって斜面の侵食を防ぐ
山腹緑化工を行っています



工事の品質を保つため
検査・立会を行っています



今年施工した部分で、早く
も緑化が始まっています

【荒砥沢Ⅱ(H21)治山工事が完成しました】



□排土工施工箇所

不安定な滑落崖(地震による地すべりできた崖)の頭部排土を行いました



危険がある箇所は無人の建設機械で施工しました

被災地の復旧状況(山腹工)

【工事概況】

一迫川地区の花山浅布で発生した大規模な山腹崩壊の復旧が完了し、緑化が進んでいます。

【 岩手・宮城内陸地震の発生当日 】



平成20年6月14日撮影

【 現在 】



平成22年6月8日撮影

林道の復旧事業

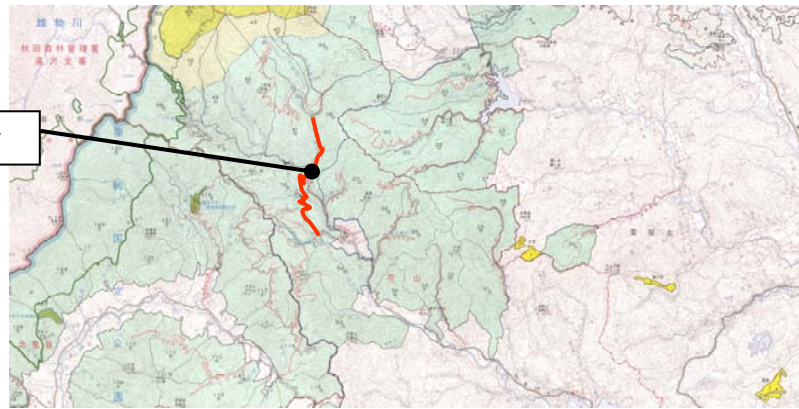
【工事概況】

河原小屋林道について、橋梁工などにより復旧対策を進めています。

【平成22年度の工事箇所】

(河原小屋林道)

橋梁の新設を行っています



□ 橋げた設置箇所

【平成21年度までに復旧した林道】

(岩ノ目沢林道)



(ヒアヒクラ林道)



復旧対策実施組織と事業



荒砥沢地区 (空撮) (平成22年6月8日)

- ・平成20年9月1日に宮城北部森林管理署に宮城山地災害復旧対策室を設置しました。
- ・平成21年度から迫川地区(耕英、洞万・日影森、温湯、浅布・本沢軽井沢)の民有林を対象に、民有林直轄治山事業を新規着手しました。
- ・平成21年4月1日に国有林直轄治山事業を担当する栗原治山事業所と、民有林直轄治山事業を担当する迫川治山事業所を新設しました。
- ・平成22年6月8日に、ヘリコプターにより現況調査を行いました。
特段の異状は確認されませんでした。



宮城山地災害復旧対策室

岩手・宮城内陸地震に係る検討会の開催



「第1回栗駒山麓崩壊地・景観活用検討委員会」
栗原市主催(平成22年5月24日)

- ・平成20年12月20日まで開催した山地災害対策検討会において、岩手・宮城内陸地震による山地災害に係る治山計画をとりまとめました。
※山地災害対策検討会の報告書等については、東北森林管理局のホームページ
(<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/koho/saigaijoho/kyoku/kentokai/hokokusho.html>)
をご覧ください。
- ・平成22年1月20日まで開催した「岩手・宮城内陸地震に係る荒砥沢地すべり対策と大規模地すべりにより出現した地形・景観の活用に関する検討会」において、荒砥沢地すべりの対策や今後の活用など総合的な検討を行いました。
※検討会の議事概要等については、東北森林管理局のホームページ
(<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/koho/saigaijoho/kyoku/kentokai/jisuberkentou.html>)
をご覧ください。
- ・平成22年5月24日に、栗原市主催の「第1回栗駒山麓崩壊地・景観活用検討委員会」が開催され、宮城北部森林管理署長が委員として出席しました。